

講義科目名称： 精神看護学演習

授業コード： 2230300700

英文科目名称： Practice in Psychiatric Mental Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員			
谷本千恵、◎船山健二			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 谷本 千恵 ◎船山 健二</p> <p>【研究室】 312 306</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>・実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP 1】 ○ 【DP 2】 ◎ 【DP 3】 ○ 【DP 4】 【DP 5】 【DP 6】 【DP 7】</p>
------	---

到達目標	<p>1. リカバリーストレングスモデル、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、オレム-アンダーウッドのセルフケア理論、精神力動論、MSE(Mental Status Examination:精神状態の査定)の理論・モデル等を用いて、精神障がいをもつ対象を包括的な視点から説明できる。</p> <p>2. 精神看護における看護過程を展開するための基礎的能力が修得できる。</p> <p>3. 精神障がいをもつ対象が置かれている社会的状況や、当事者の経験・思い・希望をふまえた治療的かかわりについて説明できる。</p> <p>4. 精神障がいをもつ対象の意思決定支援、権利擁護の視点を説明できる。</p> <p>5. 精神科の療養環境や精神科看護師の治療的かかわりについて、関心を寄せることができる。</p> <p>6. コミュニケーションの原則や技術、カウンセリングの基本と技術をふまえ、精神障がいをもつ対象にあわせたコミュニケーションについて説明できる。</p> <p>7. シミュレーション、プロセスレコードを通じ自己のコミュニケーションパターンを理解し、学修課題を明確にできる。</p>
------	--

授業概要	<p>精神看護の実践に必要な理論と援助の原則や方法等の基礎的能力について、演習を通じて修得する。本科目では、これまでの学びを統合し、精神看護学実習に向けて必要な知識・技術・態度の修得を目指します。</p>
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面▶講義形式 学習課題：演習ガイダンス / 精神看護における看護過程 学習内容：バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ストレングス・リカバリーモデル 備考：</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面▶講義形式 学習課題：精神障がいをもつ人の自己決定支援 学習内容：精神障がいをもつ人の自己決定支援 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面▶当事者-支援者の対談を聴く 学習課題：当事者の体験を知る 学習内容：当事者の体験をありのままに聴き、当事者を支える看護について考える 備考：ゲストスピーカー(当事者)</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面▶講義形式 学習課題：精神症状とセルフケアの査定 学習内容：オレム-アンダーウッドセルフケア理論 MSE(Mental Status Examination：精神状態の査定) 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面▶精神科臨床看護師-教員の対談を聴く 学習課題：精神科臨床看護の実際を知る 学習内容：精神科臨床看護の実際 備考：ゲストスピーカー(臨床実習指導者)</p> <p>6-7 授業内容</p>
------	--

	<p>授業形態：対面▶シミュレーション(ロールプレイ) 学習課題：治療的コミュニケーションの理解 学習内容：患者役・実習生役・観察者を体験する プロセスレコード 備考：体育館において行う。</p> <p>8 授業内容 授業形態：対面▶講義形式 学習課題：治療的コミュニケーション、精神看護における看護過程 学習内容：事例解説を行う（プロセスレコード、看護過程） 備考：</p>
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修 ▶ 精神看護学Ⅰ・Ⅱの講義資料を整理しておきましょう。 ・事前・事後学修の詳細については、初回演習時に配付する「演習ガイド」に示します。
評価方法、評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物による評価：95点+演習への参加状況：5点 = 100点評価とする。 ・提出物による評価の配点は、看護過程の展開：30点、授業時に課す学びシート(4回分)：45点、シミュレーションシートとプロセスレコード：20点。
必携図書	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷川雅美(2020)自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード第3版，日総研出版。
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・萱間真美(2016)リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術，医学書院。 ・萱間真美(2021)ストレングスからみた精神看護過程+全体関連図，ストレングス・マッピングシート，医学書院。 ・吉川陸博，木戸芳史(2021)看護判断のための気づきとアセスメント精神看護，中央法規出版。 ・木戸芳史(2023)クライアントとともに創るコプロダクション型精神看護過程－基礎知識・事例&計画シートで実践に活かす，中央法規出版。 ・村井俊哉(2022)これだけは押さえない改訂第2版精神科の薬－抗精神病薬・抗うつ薬・睡眠薬・抗認知症薬…－はや調べノート，メディカ出版。 ・武藤教志(2021)他科に誇れる精神科看護の専門技術メンタルステータスイグザミネーションVol.1，第2版，精神看護出版。 ・武藤教志(2021)他科に誇れる精神科看護の専門技術メンタルステータスイグザミネーションVol.2，第2版，精神看護出版。
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・90分授業のうち20分以上の不在は欠席とみなします。 ・欠席等の本科目に関する連絡は、船山までご連絡ください(メール連絡の場合には、教員からの返信を確認し返答が必要な場合には、返信をしてください)。 ・詳細については、初回演習時に配付する「演習ガイド」を確認してください。 ・精神看護過程の展開に必要な資料は、初回演習時に配付します。
教員からのメッセージ	<p>演習の内容は、実習に直結しますので、看護過程の展開に関する疑問などは、演習時に解決しておきましょう。わからないこと、知りたいことなど率直に教員へお伝えください。</p>
オフィスアワー	